

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 15河川改良費

◎河川改良の経費

河川改良事業

河川課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 雨水排水施設整備による浸水被害の防御のため。

効果 浸水被害の解消を図る。

【事業の内容】

(1) 河川改良事業

- ・ 滝ノ川の浸水被害解消のため、藤沢市で実施する滝ノ川1号橋の架け替え工事に伴う負担金を支出予定であったが、藤沢市が工事を繰越したため、負担金の支出をしなかった。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、浸水被害解消のため、坂本町低地排水施設の整備を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

浸水・低地排水への対策(坂本町)(5-6-3-③)

普通河川・水路の整備(5-6-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,000	20,420	20,420		0
主な支出内訳				
・ 河川改良事業				
滝ノ川1号橋部分の河川改修に係る負担金				
坂本町低地排水施設建設工事請負費(前年度からの繰越明許費)				
主な特定財源				
・ 国県支出金				

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)坂本町低地排水施設建設工事にあたっては、一部私有地を介在して排水工を施工しようとしたが、同意が得られず排水計画の変更を余儀なくされた。 (2)滝ノ川1号橋の工事を藤沢市に委託し平成20年度完了を予定していたが、一部水道管の移設に時間を要し年度内に完了できなかった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)坂本町低地排水施設建設工事にあたっては、県・及び地元積極的に協議・調整を行った結果、平成20年度にしゅん工した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 滝ノ川1号橋の工事を藤沢市に委託し20年度完了を予定していたが、一部水道管の移設に時間を要し、平成21年度に繰越しとなった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 滝ノ川1号橋の早期完成を藤沢市に要望する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	坂本町の浸水対策については終了したが、今後県の道路拡幅の用地買収の進捗状況に併せて面整備を行い、引続き浸水被害の解消に向け雨水排水施設整備を積極的に進める。				
担当課長氏名:		河川課長 稲葉博行			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	浸水被害の解消に向け、雨水排水施設の改修を積極的に行う。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		